

呉市立横路中学校第2学年 外国語科学習指導案

単元名：Lesson 6 My Dream

日時・場所 平成30年11月16日(金) 第2校時 7年1組教室
学年・学級 2学年2組(男子19名 女子18名 計37名)

育成を目指す資質・能力：課題発見・課題解決力，コミュニケーション能力，協働的な態度

単元について

本単元は、健とエマが職業体験プログラムに向けて希望する事業所や職種について話したり、実際に職場体験プログラムを体験したあとの感想を発表したりする場面、また Use Read では健が将来の夢とその理由について述べたスピーチ原稿が取り上げられている。今年度は、呉市のキャリアスタートウィークが中止となってしまったが、総合的な学習の時間の中で、働く人へインタビューを行ったり、様々な職業について調べたりする取組を行っており、生徒には比較的身近な話題である。登場人物のやりとりや発表を参考にして、自分のやりたいことなどについて、考えや気持ちを伝え合ったりするコミュニケーションの場面を設定するのにふさわしい単元である。

言語材料としては、to 不定詞を扱っており、名詞を説明したり、自分の夢ややりたいこと、その理由や目的について話したりするなど、自分の思いや考えについて表現する方法を学ぶのに適した単元である。

したがって本単元は、新学習指導要領の1目標(4)話すこと[発表]イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりの内容を話すことができる」ようにする指導と位置づける。また、「横路中学校 CAN-DO リスト」の[イ 話すこと 発表]の「あらかじめ話すことをメモなどで準備すれば、自分の夢について、簡単なスピーチをすることができる」よう指導し、自分の夢ややりたいことについて、自分の考えや気持ちなどを整理して、まとまりのある内容で発表する力を身に付けさせる。

生徒観

本学級の生徒は、これまでに日常的な話題について、1～2文で自分の考えや気持ちなどを説明する活動を繰り返し行ってきた。また、呉市の暗唱教材を活用して、教科書本文を暗唱し、それを活用しながら自己表現につなげ、ペアで会話するなどの帯活動を行っている。これらの活動を通して、英語でやりとりすることについては少しずつ慣れてきているものの、自分の考えや気持ちをまとめた英文で発表することについては、「話す内容が思いつかない」「どの表現を使えばよいか分からない」などの理由から苦手意識をもつ生徒が多い。

平成30年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙調査において、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています」に肯定的に回答した生徒は47.3% (県平均59.8%)、「英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くとともに、文と文のつながりに注意しています」に肯定的に回答した生徒は64.3% (県平均73.3%)であった。

また、平成30年8月に実施した生徒アンケートによると、「どの表現を使って自分の意見や考えを話したり、書いたりすればよいか分からない」「正しい語順がわからない」「単語を正しく覚えることができない」「人前で発表して間違えるのが怖い」などの理由から、話したり書いたりする表現活動等に苦手意識を持つ生徒が78%いることもわかった。

授業で「自分の大切なもの」や「自分の好きな有名人」紹介の活動を行った際、間違った英語を使うことに対する抵抗感からか、教科書と同じような型のスピーチ原稿をつくり、原稿を見ながら読むだけ

の発表になった生徒が16%いた。また、2学期課題試験の自分のことについて答える表現問題では、80%以上正解した生徒は38.9%、正解が20%以下であった生徒は55.6%であり、基礎的な文構造や語順が定着していない、使うべき表現が理解できていない生徒がいるなどの課題が見られる。

その反面、4技能のうち、これから一番身につけたい力として「話すこと」または「書くこと」をあげた生徒が多く、「自信はないが、英語を話せるようになりたい、書けるようになりたい」という意欲をもっていると言える。

指導観

指導にあたっては、帯活動として、ペアトークを取り入れたり、前時に学習した語彙や表現を使って、話したり書いたりする活動を繰り返し行い、基礎的な文構造や語順の定着を図る。また、自信を持ち、積極的に英語を使わせるために、ペアやグループ活動でお互いの気持ちや考えを交流し合ったり、教え合ったりするなど、生徒同士の学び合いを意識して指導する。

本単元のはじめに、ALTの兄の「自分は小学生に英語を教えている。日本の中学生がどんな夢をもっているのか知りたい。」というメッセージを聞き、単元の終わりに「各自の夢を語るビデオメッセージを作成する」というゴールを設定する。また、スピーチでどんなことを語るのかを考えさせておき、単元を通して必要な表現や使いたい表現を“Useful Expression Cards”に残していき、今まで学習した表現を使って自分の考えや気持ちを話させることで、既習事項を活用して、まとまりよく話すことができるように指導する。

今回のスピーチでは、聞き手は録画したメッセージビデオを見るという形になり、発表したその場で相手の反応などを聞くことはできないが、視線（アイコンタクト）、声の大きさに注意するとともに、大切なことを強調したり、抑揚を付けて話したりすることで聞き手に分かりやすいスピーチになるよう意識させる。

その際、タブレットを活用してスピーチを録画し、それを見ながらお互いの気付きなどを交流することで、自分のスピーチを客観的に振り返り、よりよい発表につなげさせたい。

単元末には、実際に個々のスピーチを録画してALTの兄に送る。ビデオメッセージを見た感想や生徒のスピーチを評価してもらい、英語で自分の考えなどが伝わったことに自信をもたせたい。

単元の目標と評価規準

- (1) 自分の夢ややりたいことなどについてまとまりよく話す。(外国語表現の能力)
- (2) スピーチ発表において、聞き手が理解しやすくなるように工夫して話す。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (3) 不定詞を用いた文構造を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

指導と評価の計画

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
スピーチ発表において、聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。	自分の夢ややりたいことなどについて、まとまりよく話すことができる。	/	不定詞を用いた文構造を理解している。

1	<p>○単元の目標を確認する。</p> <p>「自分の夢ややりたいことなどについてスピーチをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの兄からのビデオメッセージを視聴し、言語活動の場面や目的について知る。 ・自分の夢ややりたいことなどについて、イメージマップをつくる。 	ア	活動の観察
2 3	<p>○自分の夢ややりたいことなどについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を通して不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を理解する。 ・自分の夢ややりたいことなどについて、理由とともに説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I want to be a vet. Because I like animals very much. I want to help many sick animals.</p> </div>	ア エ	活動の観察 後日ペーパー テスト
4	<p>○自分の夢ややりたいことなどについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を通して不定詞（副詞的用法）の形・意味・用法を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I want to be a vet. Because I like animals very much. I want to help many sick animals. I study hard every day to be a vet.</p> </div>	ア エ	活動の観察 後日ペーパー テスト
5 6	<p>○自分の夢ややりたいことなどについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を通して不定詞（形容詞的用法）の形・意味・用法を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I want to be a vet. Because I like animals very much. I want to help many sick animals. I have a lot of things to learn. So I study hard every day to be a vet.</p> </div>	ア エ	活動の観察 後日ペーパー テスト
7 8 9	<p>○自分の夢ややりたいことなどについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を通して、スピーチの構成や使っている表現の工夫について理解する。 ・deliveryを意識しながら、教科書のスピーチを読む練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I want to be a vet. I have two reasons. First, I like animals very much. I want to be with them all the time. Second, there are many sick animals in the world. I want to help them. I have a lot of things to learn. So I study hard every day to be a vet. I want to be a good and kind vet in the future.</p> </div>	エ	活動の観察 後日ペーパー テスト

10	<p>○Project 2: 自分の夢ややりたいことを紹介しよう①</p> <p>・ Useful Expression Cards を元に、スピーチメモをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶, 自己紹介 ・ になりたい職業ややりたいことなど ・ まとめ, 挨拶 </div> <p>・ delivery を意識しながら, スピーチ発表の練習をする。</p> <p>・ スピーチ発表を録画する。</p>	アイ	活動の観察 後日パフォーマンステスト
11 本時	<p>○Project 2: 自分の夢ややりたいことを紹介しよう②</p> <p>・ 前時に録画した動画をペアで見て, よりよい内容にするための改善策を考える。</p> <p>・ delivery を意識しながら, スピーチ発表の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ eye contact … 聞き手 (タブレット) を見ている。 ・ clear voice … 聞き取りやすい声である。 ・ pronunciation … 正しい発音である。 ・ expression … 自分が伝えたいことが相手に伝わる表現 (抑揚等)。 スピーチの構成が整っている。 自分の夢ややりたいことなどの理由を分かりやすくくわしく説明している。 </div>	アイ	活動の観察 後日パフォーマンステスト
後日	<p>○パフォーマンステスト</p> <p>・ 自分の夢ややりたいことについて, スピーチをする。</p> <p>・ ルーブリックを元に評価し, 生徒もお互いを評価する。</p>	アイ	パフォーマンステスト
	<p>○動画撮影</p> <p>・ ALT の兄に送るメッセージビデオを撮影する。</p>	アイ	活動の観察
	<p>○ペーパーテスト</p> <p>・ 不定詞を用いた文の構造についての理解を見取る問題</p> <p>・ 自分の夢について, 理由とともに書いて紹介する問題</p>	イエ	ペーパーテスト

本時の学習

- (1) 本時の目標 聞き手に伝えたいことがよりよく伝わるように, スピーチをする。
- (2) 観点別評価規準 ア スピーチ発表において, 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。
- イ 自分の夢ややりたいことなどについて, まとまりよく話すことができる。
- (3) 準備物 教科書, ノート, スピーチメモ, Useful Expression Cards, タブレット, 辞書, 電子黒板

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 〔「努力を要する」状況と判断した児童への支援●〕		評価規準 (評価方法)		
	JTE	ALT			
1 あいさつ (2分)	○立腰, 黙想を徹底させる。	○英語を学習する雰囲気をつくる。			
2 帯学習 (2分) ・暗唱チャレンジ					
3 メッセージビデオ紹介(5分)				○ALT の兄からのビデオメッセージを見せ, 生徒の意欲を高める。	○生徒がメッセージの内容を理解できるように支援する。
4 本時の目標の確認					
めあて: 聞き手に伝えたいことがよりよく伝わるように, スピーチをしよう					
5 スピーチ練習 (30分)					
① スピーチ発表で気をつける点について意見を出し合う。					
〈予想される生徒の意見〉 ・ eye contact ・ clear voice ・ clear pronunciation ・ expression					
② expression について, 声の強弱や抑揚以外に, 何に気をつけるべきか, 意見を出し合う。	○意見が出ない場合, スピーチの構成や内容に着目するよう促す。	●意見が出ない場合, 気をつけるべき点の例を示す。			
〈予想される生徒の意見〉 ・ スピーチの構成 … I have two reasons. First, Second 等 ・ スピーチの内容 … 理由をわかりやすく, くわしく説明している。					
③ ALT のモデルスピーチ発表を聞き, 確認する。	○ALT がスピーチ発表をしている間, 気をつける点についてカードを示し, 強調する。				
④ ペアになり, 前時にタブレットで録画したスピーチをお互い	○delivery だけでなく, スピーチの構成や内	●机間指導を行い, 話すことが苦手な生徒を	ア スピーチ発表において, 聞		

に見て、良かった点や改善点について話し合い、メモなどをする。

⑤ ペアの相手からもらったアドバイスを元に、自分のスピーチを改善しながら、スピーチ発表の練習をする。

⑥ 再びペアになり、改善すべき点が改善されたかどうかをチェックする。

6 全体で1～2人発表 (7分)

・スピーチの発表をする。

容にも目を向けるように声をかける。

●deliveryを意識して練習できていなかったり、改善する様子が見られなかったりする場合は、個人練習を止め、スピーチ発表で気をつける点について、もう一度説明する。

○積極的に発表するように声をかける。

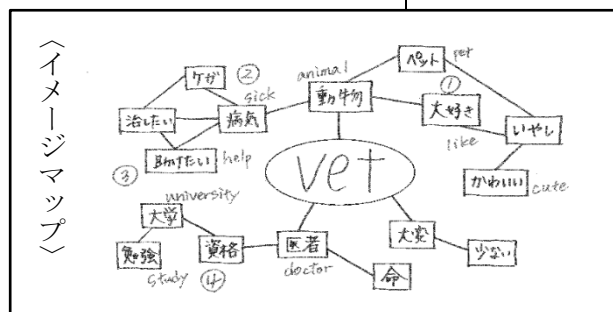
支援する。

○生徒の練習の様子を見ながら、肯定的な評価をしたり改善点について声をかけたりする。

●発表者がいない場合、練習の成果があらわれた生徒を指名し、肯定的な評価を伝える。

き手が理解しやすくなるように工夫して話している。(活動の観察)

イ 自分の夢ややりたいことなどについて、まとまりよく話すことができる。(活動の観察、後日パフォーマンステスト)



〈発表用メモ〉

VET

- ① like animals
- ② many sick animals
- ③ help
- ④ a lot of things to learn
- ⑤ study hard

〈予想される生徒の表現例〉

Hello, everyone. I'm ~. I'm going to tell you about my dream. I want to be a vet. I have two reasons.
First, I like animals very much. I want to be with them all the time.
Second, there are many sick animals in the world. I want to help them. I have a lot of things to learn. So I study hard every day to be a vet. I want to be a good and kind vet in the future.
Thank you.

〈めざす生徒の姿〉

- eye contact … 聞き手（タブレット）を見ている。
- clear voice … 聞き取りやすい声。
- pronunciation … 正しい発音である。
- expression … 自分が伝えたいことが相手に伝わる表現（抑揚等）
スピーチの構成が整っており、内容が分かりやすく、くわしい。

7 本時の振り返り（4分）

① 自己評価

② 宿題の確認

- 本時の授業を振り返り、目標が達成できたかどうか、課題は何かを発表させる。
- 家でスピーチ発表の練習をするように伝える。

○肯定的な評価及び改善点を伝える。

(5) 板書計画

めあて： 聞き手に伝えたいことがよりよく伝わるように、
スピーチをしよう

Friday, November 16th

Sunny

スピーチ発表で気をつける点

- eye contact
- clear voice
- clear pronunciation
- expression
→ 抑揚・構成・内容

スピーチ評価の
ループリックを貼る

(6) 単元末パフォーマンス課題

パフォーマンス課題：自分の夢ややりたいことについて、スピーチをする。

評価規準：ア スピーチ発表において、聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。

イ 自分の夢ややりたいことなどについて、まとまりよく話すことができる。

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に自分の伝えたいことがよく伝わるように、deliveryを意識しながら、自分の夢などについてまとまりよくスピーチをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に自分の伝えたいことが伝わるように、自分の夢などについてスピーチをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に自分の伝えたいことが伝わるように、自分の夢などについてスピーチをすることができていない。
実際の生徒の姿	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を見ながらスピーチをしている。 聞き取りやすい声でスピーチをしている。 おおむね正しい発音である。 自分が伝えたいことがよりよく伝わるように、声の強弱や間の取り方などをよく工夫している。 スピーチの構成が整っており、自分の夢などについての理由がわかりやすく、くわしく説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を見ながらスピーチをしているが、よくメモを見ている。 聞き取りやすい声でスピーチをしている。 発音の間違いが少ない。 自分が伝えたいことが伝わるように、声の強弱や間の取り方などを工夫している。 スピーチの構成がほぼ整っており、自分の夢などについての理由を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を見ずにスピーチをしている。メモを見ることが多い。 聞き取りにくい声でスピーチをしている。 発音の間違いが多い。 自分が伝えたいことが伝わるようなスピーチの工夫が見られない。 スピーチの構成が整っておらず、自分の夢などについての理由が不十分である。
生徒のまとめ例	<p>Hello, everyone. I'm ~ . I'm going to tell you about my dream. I want to be a vet. I have two reasons. First, I like animals very much. I want to be with them all the time. Second, there are many sick animals in the world. I want to help them. I have a lot of things to learn. So I study hard every day to be a vet. I want to be a good and kind vet in the future. Thank you.</p>	<p>Hello, everyone. I'm ~ . I'm going to tell you about my dream. I want to be a vet. I have two reasons. First, I like animals. They are very cute. Second, I want to help many sick animals. I want to be a good vet in the future. Thank you.</p>	<p>Hello, everyone. I'm ~ . I'm going to tell you about my dream. I want to be a vet. I like animals. I want to be a good vet in the future. Thank you.</p>